

## J A 広島総合病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	前立腺全摘後鼠径ヘルニアに対するTAPP法とプラグ法の成績比較
倫理委員会承認番号	No. 21- 13
研究の対象	2013年9月から2021年4月までの間に、当科で片側前立腺全摘後鼠径ヘルニアに対して手術を行われた患者様
研究目的・方法	前立腺全摘後鼠径ヘルニアに対しては一般的に前方到達法（鼠径部切開）が推奨されていますが、腹腔鏡手術を第一選択術式とし、良好な成績を報告している施設もあります。対象期間中に当科で行った片側前立腺全摘後鼠径ヘルニアに対する術式内訳は腹腔鏡手術（TAPP法）37例、前方到達法（プラグ法）35例であり、その成績を後方視的に比較検討することで、TAPP法を行うことの是非を検討します。
研究に用いる 試料・情報の種類	電子カルテでの記録
外部への 試料・情報の提供	なし
個人情報の取り扱い	使用した情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用いたしません。
利益相反の有無	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 ( )
お問い合わせ先	廿日市市地御前1丁目3番3号 J A 広島総合病院 外科 研究責任者：田崎 達也 TEL：0829-36-3111 / FAX：0829-36-5573
備考	第34回日本内視鏡外科学会総会で発表予定です